

第1回地区住民意見交換会 主な意見と対応

地区共通 【復旧】	
主な意見（会場）	対応（市）
■仮設住宅	
・ 仮設住宅にいつ入られるか不安でいっぱい。一日も早く仮設住宅に入れてもらいたい。(正院、宝立、三崎)	・ 大規模半壊の方を優先にしており、中規模半壊等はお待ちいただいている状況でもある。建設予定のものは早期に対応できるよう県と協議している。他に民有地で整備できないか検討している。
・ 仮設住宅の入居期間の2年が終了したら、住むことはできないのか。(宝立、日置、上戸)	・ 応急仮設住宅は原則2年であるが、延長したい。5、6年住み続ける前例もある。そのまま災害公営住宅になるケースもある。
・ 選定されているのに入居していない人がいるようだ。(宝立、飯田)	・ 入居案内をしてから入居するまで40日間の期間があり、まだ入居していない状況もあり得る。
■公費解体	
・ 隣の家に倒れ掛かっている納屋がある。(宝立、若山)	・ 緊急性のあるものは急ぎたい。早急に対応する。
■浄化槽	
・ 浄化槽はいつ直るか。(正院、三崎)	・ 浄化槽は、760箇所あるうち、3分の2は使えない状況。6月から修繕業者が増え、スピードアップして進める。
■ごみ収集	
・ 燃えないゴミは集めていないと思うが、いつから通常のごみ収集になるのか。(正院、直)	・ 資源ごみの収集は始めたところである。ゴミの処理をしている奥能登クリーンセンターも被災しているところだが、できるだけ早めに対処したい。
■仮設店舗	
・ 仮設商店街が飯田で計画されているが、他の地域で町ができつつあるが店舗がない。仮設商店街を確保する等の支援もほしい。(正院、蛸島、直)	・ 仮設商店街はずなりで4店舗準備を進めている。他地域でも仮設店舗ができるなら進めたい。意向のある方が商売できるよう、商工会議所と連携して進めたい。
■コミュニティ	
・ お宮やキリコ、神輿が壊れてしまい、市として補	・ 復興基金等に対応できるのではと考えて

地区共通 【復旧】	
主な意見（会場）	対応（市）
助できないか。（三崎、日置、上戸、若山）	いる。
・仮設住宅に入っているが、そこでの自治会をどうまとめるのか。（蛸島、上戸、若山）	・応急仮設住宅は取りまとめる方がいいと思う。仮設住宅の管理者の選任をお願いしている。
・住民がいない、区長がいないなど区が機能していない場合、街灯代など地区にかかる費用は市が補助してくれるのか。（正院、宝立）	・切実な課題である。行政で負担できるようにしたい。

地区共通 【復興】	
主な意見（会場）	対応（市）
■教育環境	
・学校の統廃合について、考えてほしい。（正院、蛸島、三崎、宝立、若山、飯田）	・地域と校は一体である。子どもの数が少なくても質の高い教育環境は可能。この地震を機にすぐに合併するというのは乱暴だと考えている。復旧の状況も見守りながら進めたい。
・倒壊家屋を見ながら通学する子どものメンタルケアをしてほしい。（宝立、若山）	・子どものメンタルケアも教育委員会や健康増進センターで取り組みたい。
・仮設住宅があり、学校のグラウンドが使えない。（正院、飯田）	・グラウンドだけでなく体育館も使えないという学校もあるため、仮設グラウンドは作りたい。
■津波からの安全性確保	
・避難場所に津波がきたが、行政として高台等の整備や、防波堤を高くするという考えはあるか。（蛸島、正院、直）	・国から「ここは建物を建てられない区域として指定すべき」等の話は聞いていない。地域のみなさんと議論をすすめ、決めていくことと認識している。
■意見収集の方法	
・意見交換会に参加できない、意見を言えない方から意見をもらう方法を考えてほしい。（三崎、宝立、上戸、若山）	・全市民向けアンケートを実施する。策定委員会の議論の内容は公開できるように準備をしている。みなさんの意見をネットで言える場をつくりたい。

第1回地区住民意見交換会 地区ごとの意見

大谷地区	
日時：6月1日(土) 18:00～21:00 参加者数：78人	
主な意見（会場）	対応（市）
■仮設住宅	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化が著しい地域でなぜ2、3階建てなのか。大谷町で足りないなら、馬縞や清水にも建設してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画を変更して3階建ては建設しない。大谷トンネルが崩落しており応急仮設住宅の建設が道路の復旧後になる。仁江の方は再度仁江で暮らせるようにしたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年後まで仮設住宅がグラウンドにある。個人の地面を宅地造成し、建設することはできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 更地に災害公営住宅を配置することを考えたい。個人の地面に災害公営住宅を建設する際は、UR都市機構を間に入れるなど制度上の工夫が必要と考えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 応急仮設住宅が大谷地区として67戸と言われる中、馬縞から真浦まで含めて67戸か。清水で入居したい人は大谷の中に入るのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入居申込をされた皆さんに意向調査をし、総務課と連携して調整している。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家が準半壊であるが隣の家を撤去いただかないと住めない状態。入居条件が半壊以上である仮設住宅には入れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設住宅の入居者の対象にするよう、なんとかする。
■インフラの復旧	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 水道の復旧を急いでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対応したい。清水浄水場は土砂崩れ復旧の目途が立たない。大谷浄水場からは、水道管が細いため、遠くに距離を延ばすのは難しい。土砂災害の水も使うことも検討したい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 家の前の市道が陥没して家が危ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市道の災害査定がこれから始まる。年内に査定を終える予定。陥没している箇所は、環境建設課に連絡いただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 馬縞で通れる道が1本しかなく、冬までに解決できなければ除雪してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今は緊急車両のみであるが、石川県とも調整してご連絡したい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 梅雨になるが、土砂災害の状況はいかがか。がけ崩れが多く、2次災害もあり得る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大雨警報や土砂災害の際は避難指示を出す。危険な場所があれば言ってほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 大谷トンネルの上に、今にでも落ちそうな石や土砂があり、完全に落ちる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国交省直轄の区間である。落石対策工事を進める。

大谷地区

・ 港を埋めるかどうかの話はどのようなものか。	・ 漁協関係者と珠洲市との対応は一緒にならないといけないため、協力したい。
・ 大谷のスーパーはやっておらず、道路状況のひどい飯田まで行かなくてはいけない。配給が終わるなら先にコミュニケーションをとってほしかった。	・ コミュニケーションをしていきたい。
■支援制度	
・ 国の支援はあるか。	・ 530、540 億円といった国からの復興基金の財源措置がある。珠洲市独自の復興基金に充当できる見通しである。
・ 石川県と珠洲市の義援金が振り込まれていない。	・ できるだけ早く義援金の振込をしたい。
■災害ごみ	
・ 災害ゴミの収集はいつまで続くか。	・ 当分の間続ける。

正院地区	
日時：6月2日(日) 18:00~20:30 参加者数：47人	
主な意見（会場）	対応（市）
■仮設住宅	
・蛸島の応急仮設住宅に入っている。正院を希望していたが満室だった。	・融通を聞かせたいが、今の仮設住宅に住み続けていただきたい。
■インフラの復旧	
・駐車場の地面の状況が良くない。	・県と協議を進めており、砂利による舗装等の結論が間もなく出せる。
・野々江の主要道路いつ復旧するのか。	・来週月曜日(10日)から順番に復旧していく予定である。
・土砂崩れが多くあったが、警戒区域に該当する地域は住宅再建が難しいのか。	・対策工事がされているところは住宅再建できる。
・土砂崩れが危険な状況。国等が直してくれるか。	・確認して必要があれば対策を講じる。
■公費解体	
・公費解体が多いが、更地になった際の固定資産税はどうか。	・固定資産税が上がるまでの2年間の猶予期間に新築するのは難しく、なんらか対策を打たなければならない。
・公費解体は3回立会が必要で、市外からの業者は泊るところがなく厳しい。	・業者に対しては、わくわく広場の開放で対応している。最大20名宿泊できる。
■コミュニティ	
・集会所の修復代等は市で支払うのか。	・集会所の不具合は行政で対応する。環境建設課に連絡してほしい。
・仮設の見守りや声掛けはどんな周期でやっているのか。	・ささえ愛センター等が8~10チームで巡回している。頻度は健康状態に基づき、在宅や訪問をしている。
・草刈りは地域がやるのか、市が対応してくれるのか。	・応急仮設住宅の中でつながりができてやってくれないか。難しければ市に連絡してもらえば、できる限り対応したい。
・寺の修繕を検討してほしい。	・県で復興基金を設立し、不足分を賄う。500億円の基金になる予定である。それに加え県の基金の一部が市に流れてくるため、県と市の2本だけの基金で進めていけるだろう。
・祭りはいつ復旧するか。	・文化庁の事業で実施する可能性もある。

正院地区

■区画整理

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 区画整理は、正院についてはいかがか。地区から要望があればできるのか。 | <ul style="list-style-type: none">・ 津波の被害の有無に限らず、必要な箇所は進めたい。特に正院は道路が狭い箇所も多く、避難路としても機能しない状況にもなるため、セットバックや区画整理等の対策は必要になると考えている。 |
|--|---|

■意見の収集方法

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 住民の意見を受け付ける窓口はあるのか。 | <ul style="list-style-type: none">・ 各地区長に上げていただきたい。また、委員会議事録にいろんな意見を書き込めるようにしたい。X や LINE などの SNS 等を活用し、オンラインで意見を言える場も整えたい。 |
|---|--|

■災害への備え

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ 防災の備えの見直しをしないといけない。避難所での役割、必要なものの整理をし、市民が共通認識を持つ必要がある。避難所にも備蓄物資がもう少し必要である。 | <ul style="list-style-type: none">・ 災害マニュアルはしっかり見直したい。備蓄はあったが不足した。誰がどこに避難しているかは、自衛隊の協力のもと把握できた状況。 |
|--|---|

蛸島地区	
日時：6月3日(月) 18:00~20:00 参加者数：86人	
主な意見 (会場)	対応 (市)
■災害公営住宅	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 一戸一戸に災害公営住宅を建てるのは難しいのではないかと。集合住宅を整備することも検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蛸島はどうしたらよいか、考えていく必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害公営住宅を個人の土地に建て、市が貸す方法の話があったが、次の世代が住み続けることにつながらないように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ご自身で建てて頂くのが一番よく、全ての方に災害公営住宅を用意するのではない。高台に宅地造成し集合住宅を建てる方法もあるが時間を要する。
■支援制度	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 義援金の2次配付は被害状況で配分が変わったが、3次があるなら平等にしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 義援金は被災した方へ配付し、支援金は復旧復興に向けて活用する。県の義援金は3次配付も考えられる。意見を伝えたい。
■医療	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産、育児が安心してできる医療体制を整えてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県へ周産期医療センターを能登空港付近につくれないか要望している。県が医療の拠点を整備し、市町の病院はサテライト的な機能でもよい。
■コミュニティ	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 市のほうから区長会に働きかけ、住民で話が進むようにしてほしい。個人的に話をしても、バラバラでまとまらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮設住宅では、様々な地区の人が隣りにいる。町内会ではないため、まとまりが難しい。区長会で議論できれば良い。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 蛸島町には、住んでいた人のどれくらいが戻ってきているのか。私の周りには誰もいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どの地域にどれだけの人が戻ってきているのか把握はできていない。まちがどうなっていくのかを共有しながら、地域のみなさんに考えて頂き、市も案を出しキャッチボールできればと思う。
■インフラの復旧	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 水の復旧を急いでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境省と連携し、公費解体がなくてもできることから順次通水を進める。
■農地	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 畑の汚染を心配している。浄化槽の薬品が流れ出してはいないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浄化槽は微生物を用いており、付近には工場も無いので人体への影響は考えにくい。

蛸島地区

■区画整理

<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理を地域の人で進める話があったが、市が主導で進めることはできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市の方針を示さない中、考えるのは難しいと思うが、地域の人々の思いと考えをふまえて協議できるとありがたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・住んでいた町を単位に、5、6軒くらいの集合住宅を整備し、地域の人々が住むと、元の地域に住むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・そのように、蛸島らしいまちの姿になるとよい。
<ul style="list-style-type: none"> ・蛸島町民から意見を出すのも難しく、東日本の事例などの案を出していただけると選びやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本、女川町、益城町の方々からの内容をふまえて、いろいろな案を出したい。

■まちの将来像

<ul style="list-style-type: none"> ・スマートシティのような考えで、集合住宅を整備し、上下水も強くし、地震がきても大丈夫にすることが必要だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集合住宅で充分という意見もあるし、代々の土地に根をはりたいという意識がある人もいるだろう。元々の場所に再建できる人は、それがよいと思う。災害公営住宅、集合住宅なども含め考えていく。
---	---

直地区	
日時：6月4日(火) 18:00~20:00 参加者数：38人	
主な意見（会場）	対応（市）
■仮設住宅	
<ul style="list-style-type: none"> 直地区の避難所にいた運転のできない高齢の方が、上戸の仮設住宅に入居が決まった。直小学校の仮設住宅に引っ越すことは可能か。 	<ul style="list-style-type: none"> 制制度上は引っ越しすることはできないが、身体面でバリアフリーでないといけないなどのケースは対応したい。
■住家の耐震等	
<ul style="list-style-type: none"> 準半壊や半壊の方が、冬場に向け、雪で家がつぶれる場合もあるだろうが、その場合は地震での保証になるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 雪で倒れた場合は、地震とは別になる。
<ul style="list-style-type: none"> 耐震化を検討したいが、大工がないことと補助以上に費用がかかるため、難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> まずは診断いただきたい。
<ul style="list-style-type: none"> 耐震工事が非常に煩雑であり、市内業者が登録を嫌がっている中、業者を自分で探すのが困難である。 	<ul style="list-style-type: none"> 簡素化について、制度的なことは国に要望し、市としてもう少し対応ができるように、リスト化するなどを検討したい。
■インフラの復旧	
<ul style="list-style-type: none"> 水道を復興する段階で、奥能登全体など広域で取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 広域化すると集中させた施設に大きな被災があると全体に響いてくる。水道管を耐震化するのが一番よく、本復旧の際にはしっかり取り組んでいきたい。
<ul style="list-style-type: none"> 電力のバックアップについてどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> これを機に、いろんな取組を進めたい。雨水循環等の技術なども応用したい。
■意見収集の方法	
<ul style="list-style-type: none"> 意見交換会を、意見が出しやすいようにテーブルごとに話すなどのスタイルにするのがよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 場面に応じて、全体的な議論を出す場も大事になる。地域の皆さんでこうしたらいいという意見が出ればよい。

三崎地区	
日時：6月6日(木) 18:00～20:00 参加者数：82人	
主な意見（会場）	対応（市）
■住まいの再建	
・住む場所がないが、自分の地区から出たくなく、納屋で生活しようと考えており、仮住まいの整備にも対応してほしい。	・支援金、義援金を活用してほしい。
■地域産業	
・農業ができる環境づくりをしていく必要がある。	・北陸農政局の協力で作付けが5、6割復旧した。来シーズンまでに復旧を頑張りたい。
・漁業はいかがか。	・港の整備について、国等と協議をしながら漁業再建に向け頑張りたい。
■ボランティア	
・ボランティアが少ない。	・ボランティアと被災者のマッチングが難しい。社会福祉協議会等にも相談してほしい。
■公費解体	
・解体業者のトラックが木くずを落としており危険。	・解体撤去作業のマナーは、環境建設課から責任者に注意をしていきたい。
■意見収集の方法	
・今後の意見交換会のスケジュール、やり方はいかがか。	・8月の意見交換会の際に、なんらか地区ごとの青写真をもとに議論できるようにしたい。
■復興計画の理念等	
・基本理念に市民生活を守ることがあるとよい。	・復興に向けた理念であり、大事な観点をしっかり明記したい。

宝立地区	
日時：6月7日(金) 19:00～21:00 参加者数：124人	
主な意見（会場）	対応（市）
■仮設住宅	
・仮設住宅も入居期間が2年を超えると家賃が発生するのか。	・延長しても負担がかからないようにしたい。延長の方法も含め対応したい。
■住まいの再建	
・自分の土地を市に提供し、戸建てを建ててもらいやり方があると聞く。	・そのやり方も進めたい。意見を聞きながら進めたい。
・家がなくなり、建てる予定のない土地は宅地になるのか。	・区画整理の話になり、宅地の定義は考えていく。固定資産税対策として対応を検討したい。
・家を建てたいが業者がない。プレハブやコンテナを家として住む場合の税金はどうなるのか。	・制度の説明や法律の勉強会を開く必要性を感じている。開催時には案内する。
・余震で半壊から全壊に罹災判定が変わった時はどうなるか。	・被害状況が変われば、再度調査を実施する。
・一部損壊への支援が少ない。補助金がほしい。	・義援金は県と市からある。住宅の耐震化には200万円の補助があり活用いただきたい。
・津波の被害を受けた地区に住んでいるが、周りは公費解体でほとんど解体する。	・周りが解体撤去し一人だけ残るのもよくなく、代替え地も考えて行かなくてはいけない。今の地で再建できるのが理想的。
■インフラの復旧	
・合併浄化槽は、家ごとに申請して設置できるのか、何世帯か合同で設置できるのか。	・浄化槽は災害復旧で珠洲市として取り組む。
・この機会に合併浄化槽にしたいが、下水道区域であるため整備できないと言われた。	・国交省と協議し、下水道区域で合併浄化槽は設置できなかったが、できるようになった。
■区画整理	
・春日野と鶴飼について、国道部分も通れなかったため、歩道を広げることも考えてほしい。	・春日野と鶴飼は区画整理が必要に思う。皆さんの考えを聞きながら進めたい。

日置地区	
日時：6月8日(土) 18:00~20:30 参加者数：54人	
主な意見（会場）	対応（市）
■仮設住宅	
<ul style="list-style-type: none"> ・金沢のみなし仮設住宅に入居している。仮設住宅について珠洲市に問い合わせても、できた時点で案内すると言われ、8月末まで金沢で仕事を入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入居決定してから40日以内に入居すればよいと、即入居する必要はない。のみなし仮設入居者も珠洲の仮設住宅に住めることになったため検討してほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅は、私有地での建設はできないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・私有地も一部活用している。用地不足の状況になった場合は相談したい。
■公費解体	
<ul style="list-style-type: none"> ・自費解体の期限が9月末と聞いた。公費解体の申請には同意書を得ることに時間がかかる。公費解体の期限はいつか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・延長できるようにしたい。期限は珠洲市の裁量で決められる。公費解体の期限は区切っていない。
■農業	
<ul style="list-style-type: none"> ・田んぼの排水がパンクした。配管を直してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各地で被害がみられたが、農政局等の協力もあり復旧してきた。パイプラインの被害はまた確認する。
■インフラの復旧	
<ul style="list-style-type: none"> ・寺家バイパスの整備を早くしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・急ぎたい。要望していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・折戸飯田線の大規模ながけ崩れを早期復旧してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄板がずれたら直しているが、土砂災害の対応をしてからでないとアスファルトができない。段取りを進め早期に対応する。
■災害がれき	
<ul style="list-style-type: none"> ・狼煙のがれき置き場は、いつまで受け入れを予定しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮置き場の期限は決めていない。がれきの量のデータを日々みながら、いつまで実施するのか考えたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・災害ゴミと公費解体で出たがれきの置き場はどうするか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公費解体のがれきは、リサイクルしている状況もあると聞く。瓦はリサイクルできないか、坂茂さんが考えているようだ。建物の梁等の活用も考えたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・自費解体の解体ゴミは、蛸島の仮置き場では受け入れてくれないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解体事業者が、蛸島以外の産業廃棄物を持ち込むことになり、事業者の裁量で決められている。

日置地区

■保育所

・ 珠洲市内で再開している保育所はどこか。

・ つばき保育園のみである。保育士のマンパワーが不足から今年度は再開が難しい。

■災害への備え

・ ハザードマップを更新する想定はあるか。

・ 今後、新たなデータをもとに、ハザードマップを更新することになっている。

・ 被災時に集落単位で避難できたことはよかったため、今後の災害対策に取りこんでほしい。

・ 地域の皆さんの共助で備えておく必要がある。いざというときの防災体制は取り組みたい。

■復興計画の理念等

・ 復興計画の骨子案は、震災前からあまり変わっていない印象であり、どこを重点的にやっていくのか。

・ 基本方針は、現時点ではあくまで案であり、これから皆さんの意見を踏まえながら変えていく。重点的な項目に絞ることや強調すべき点も考えていく。

上戸地区	
日時：6月9日(日) 18:00~20:15 参加者数：88人	
主な意見 (会場)	対応 (市)
■インフラの復旧	
・竹中川上流の崖崩れにより、神道から穴窯の市道が危険である。片側が大きく削られており、危険な状態であり、崩れが進行している。	・土砂災害の二次災害に警戒が必要である。市道が崩壊していくのも心配である。
・家の裏山の土砂が崩れ岩石が落ちてきている。市で直すのか、自費なのか教えてほしい。土砂災害警戒区域ではない。	・現場の状況により、地すべり対策、急傾斜対策、林野庁の保全対策になる可能性もある。確認する。
・寺社の山奥に、農業用のため池がある。大規模崩壊し貯水率は4割であり、4割しか田植えができていない。夏になると水不足になるか心配である。	・市内のため池の被害が多い。決壊すると宅地が被害をうけるなど、危険度が高いところから対応している。産業振興課が調査に行っていると思うが確認する。
・家の前のマンホールが飛び出ており、大きい車が通るたびに家ががたつく。道路の中に空洞ができているのではないかと思う。県道なので対策をお願いしたい。	・金沢市役所は音波で地下を調べられる車を持っている。復旧が一定程度落ち着いた段階で、お借りして珠洲市内を走り、空洞等がないか確認をしたいと思う。
■能登瓦の復旧	
・瓦の修理であるが、工事完了期限が12月までである。期限内に終わらなかったら自己負担なのか不安である。	・応急補助に関して、年内で区切っているが、お願いすれば延長可能である。瓦業者もいつになるのか分からない。
■コミュニティ	
・集落の過疎化、コミュニティ意識の薄れが進んでいる。集会所、公民館も被災している。市は状況を把握しているのか。コミュニティづくりを支援してほしい。	・町内会費が集められなくても、街灯代など出費はある。6月補正で、町内単位で世帯数に応じ、応援金を出せないか検討したい。
・コミュニティの拠点である上戸公民館が地震で使えなくなった。現在、上戸保育所を事務所として使っているが、今後正式な公民館となるのか。	・公民館を保育所に移設する予定で改修を進めようとしていたところに地震が来た。移設の事業はしばらく難しい。小学校の一部を暫定的に使うなど工夫したい
■まちの将来像	
・新しいコンパクトシティを目指すべきである。	・コンパクトシティとしていいのかは考える必要がある。仁江地区は大規模土砂災害の危険があり長期避難世帯となっている。

上戸地区

コンパクトシティの考え方では、仁江でないところに移り住んでもらうことになるが、仁江の人の故郷は仁江である。これを中心部に集めると珠洲ではなくなる。地域の人と協議していきたい。

若山地区	
日時：6月13日(木) 18:00～20:00 参加者数：69人	
主な意見（会場）	対応（市）
■インフラの復旧	
<ul style="list-style-type: none"> 除雪車が入らない地域であり、自力で除雪している。がたがたのところだけでも直してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> この冬までに除雪ができるようにするために進めるのは容易ではないが、山間部は雪が積もるので、何か取り組んでいきたい。
■災害への備え	
<ul style="list-style-type: none"> 震災時の経験を住民に聞き取りをしてもらい、全国に発信できたらよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 震災の経験、避難されたときの状況を、個人単位やグループ単位で冊子にまとめている方は、すでに珠洲市にいらっしゃる。さらに経験談を発信することで、今後もしかしたら大災害が起きるかもしれないところに発信できればいい。
■2次避難者への対応	
<ul style="list-style-type: none"> 2次避難先やみなし仮設住宅におり、珠洲に戻って来れないが思いを馳せている親子への対応などはあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 2次避難先、みなし仮設住宅にいらっしゃる方については、いろいろなところから情報をいただき、声があれば面談をし、珠洲へ帰って来た時にお会いした家族もいる。また情報があればお願いしたい。
■コミュニティ	
<ul style="list-style-type: none"> 公民館や文化センターが壊れたり使えなかったりする場合、修復や修繕は区ですることになるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 集会所の修繕は3/4以内、上限300万円でお渡しするが、区で100万円集めるのも大変だと思う。支援はさせてもらうが、組み合わせていかななくてはいけない。

飯田地区	
日時：6月14日(金) 18:00~20:00 参加者数：75人	
主な意見 (会場)	対応 (市)
■災害公営住宅	
<ul style="list-style-type: none"> ・災害公営住宅について、入居者が亡くなり空き家となったときに、珠洲市は将来的な活用方法についてどのように考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害公営住宅については何年か住むと安く払下げできるようにと考えている。しかし誰かの所有になり、空き家になってしまったらどうしようもない。そこで次の世代がずっと住み続けてもらうように、若い人にとって魅力的な災害公営住宅を整備していきたい。
■住まいの再建	
<ul style="list-style-type: none"> ・津波が床上まで来て柱が割れて給湯器が浸かっていたのに一部損壊だった。2次、3次調査も罹災判定が変わらないことに納得していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・罹災調査については点数化をして調べており、全国的に同じ基準で判定している。しっかり調査していただくしかない。
<ul style="list-style-type: none"> ・家を再建したいため、金沢のハウスメーカーに見積もりを出したが、高額の出張費が上乗せになる。分譲住宅団地の考えもあっていいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・頭に入れて考えていきたい。飯田は災害公営住宅、自力再建、分譲住宅にしても土地の問題がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・飯田町は、借地に家が建っている人が多いため、再建の難しいエリアである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地主との交渉について、一人ひとりで交渉するのか、行政として色んな制度を使いながら整備するかも大事になってくる。これが面的に連続していないと難しいので、珠洲市と地主の間に UR 都市機構等を挟むのかも含め、時間はないが考えていきたい
<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の修繕ができていないが、どうすればよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・罹災証明を出していただき、支援金を受け取ってほしい。修繕は市で行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・公営住宅や外のハウスメーカー等のありふれた家が並ぶと、観光客やIターン者もがっかりする。珠洲市としてどんな方向で景観を作っていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・珠洲には町並みがあり、コミュニティがあることが魅力である。私も同じ建物がたくさん立つのがイメージできない。
■商店の再建	
<ul style="list-style-type: none"> ・飯田町再建には商店の再建が課題となるが、市の方で考えがあるのか。また、商店の人に意見聞いてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設店舗については、すずなりで4店舗計画している。その他ご自分の敷地内や近くで仮設店舗を再建したい人については、国と連携して行政で家賃補助等の支援はしたいと考えている。

飯田地区

■インフラの復旧

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・家の前の道路のアスファルトが陥没したり、マンホールが上がっていたりする。いつ直るのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・これから災害の査定が始まり、認められれば、工事を発注して直すことができるようになる。敷地と道路の高低差があるところで、道路だけ復旧して敷地を上げるというわけにもいかない。敷地と道路の一体的な復旧が大事である。国交省との協議を進めながら、できるだけ早く対応したい。 |
|--|--|

■公費解体

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・解体撤去の際、どこの家のものか分からないものがある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害廃棄物として市で処分するが、今は解体業者の体制が整っていない。面的整備の時に一緒に災害廃棄物の処分ができれば良いと考えている。 |
|---|--|

■コミュニティ

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅の中に交流スペースはあるか。避難所にはサロンがあり交流スペースがあった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・仮設住宅の戸数に応じて集会所や談話スペースを設け、お茶会などの場づくりをしている。 |
|---|--|

■災害への備え

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・来るべき災害へは、どのような備えがあるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・家が倒壊しないことが一番であり、耐震化支援は県内で一番手厚い。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・電源が切れて電気が使えなかったので、防災の考え方として IT を使うのは不安である。使えなくなった時の代案を考えてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・停電時の対応については見直さなければいけない。特に避難所で電気が使えるような対応について考えていきたい。 |

■市の財政状況

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・国から補助金を出してもらったが、市がつぶれることはないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今のところ問題ない。今年度末に向けての特別交付税措置、あるいは市の借金の国の肩代わり等の財政支援を受けていきたい。 |
|--|--|

■まちの将来像

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・若い人を珠洲市にどう残すのか、出ていった人がどう戻ってくるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・魅力がないと戻ってこないなので、質を高めることに取り組んでいきたい。若者が暮らしたいと思えるような魅力をどのように作っていくのか、若者を中心に話し合いをしていきたい。 |
|--|--|